

令和6年度  
(2024年度)

# 学校関係者評価報告書

令和 6年(2024年) 4月 1日から  
令和 7年(2025年) 3月 31日まで

令和 7年(2025年) 8月 25日

学校法人吉田学園  
吉田学園動物看護専門学校

## ■令和6年度 学校関係者評価について

〈説明〉

より高い専門職種を輩出する学校としての特性を活かしつつ、本校の実践的な職業教育にかかる活動等を評価し、改善・支援等を行うことにより、学生が関連業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受できるように学校運営の改善と、発展を目指した学校評価を行うことを目的に実施する。

### 1. 対象期間

令和7年8月25日(月) 14時30分～

### 2. 実施場所

吉田学園動物看護専門学校 応接室

### 3. 実施方法

(1) 実施組織: 学校関係者評価委員会

○評価委員: 鳥越 慎吾 北海道小動物獣医師会 会長(当日欠席)

今道 昭一 きたのさと動物病院 院長

滝沢 亜里沙 アイリス動物医療センター マネージャー

○学校関係: 滝本 玲 校長

古久保 英樹 学科長

前鼻 彰人 愛玩動物看護師学科 主任

(2) 評価基準: 文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

(3) 評価方法: 令和5年度(2023年度)学校運営・教育活動実績報告書に対する学校関係者評価

### 4. 評価項目

次の11項目について実施

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果・教育成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 教育の内部質保証システム
- (9) 財務
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

### 5. 評価項目に対する評価

(1) 4段階で点数評価

4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切

(2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項を記載

○項目1 教育理念・目標

(学校より)

1-1 教育理念・目的・育成人材像については HP・パンフレットで公表している。学生に対して

は、オープンキャンパスを毎月開催し、入学後にはオリエンテーションにて学校の方針を伝える場を設けている。保護者へは毎年入学式後にガイダンスを行い説明している。未参加者には学生便覧等の資料を送付している。

1-2 次年度はトリマー学科・トリマー専攻科が閉科となり、愛玩動物看護師学科は3年制が揃う年となるため、カリキュラムに合せた教員や講師の補充をした。既存学科・既存の教育方針に対する調査は行っていないため、継続的にニーズを捉える取り組みが必要である。

#### ○項目2 学校運営

(学校より)

2-4 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みは行っているが、研修の効果を評価し文書により記録はしていない。

(委員より)

今後どのようにしていくか。

(学校より)

研修の効果を評価し文書により記録する。

#### ○項目3 教育活動

(学校より)

3-2 2025 年度で3年制の3年生が揃い、3年制カリキュラムがスタートする。そのことから今までは役職者でのカリキュラムの整備をしていた。

3-4 資格取得等に関する指導体制について、明確な計画書はない。

(委員より)

今後どのようにしていくか。

(学校より)

ディプロマポリシーを学生便覧に明示し、学生に周知する。

2025 年度よりカリキュラム作成委員を選出し、委員会を実施する。

愛玩動物看護師試験対策計画を作り、実行する。

#### ○項目4 学修成果・教育成果

(学校より)

4-4 トリマー学科、トリマー専攻科が 2025 年 3 月の閉科となった。トリマー教員も退職し、今後トリマー業界との繋がりは減ってくることは予想される。

#### ○項目5 学生支援

(学校より)

5-6 科目ごとで、欠席時数が重なって来た際に、担任から保護者宛に必ず電話連絡を入れている。

5-7 卒業生への再就職支援体制の構築。

#### ○項目6 教育環境

(学校より)

6-1 使用教室、実習室の清掃後の教職員によるチェックは毎度目視で行うルールとしており、そのチェックが終わらなければ清掃班は帰れないため、必ず実施されている清掃記録簿を作成するなど今後の改善に努める。

○項目7 学生の受入れ募集  
(学校より)

2025年より、パンフレットと募集要項はデジタルとなる。

○項目8 教育の内部質保証システム  
(学校より)

8-2 個人情報の取り扱いについての注意喚起を定期的に伝え、意識させているがエビデンス資料は朝礼で伝えた内容としての学校日誌記録程度しかない。今後は情報セキュリティ研修の受講を義務付けるなど改善をはかる。

8-4 卒業後のキャリア形成への効果を把握できるよう、卒業生情報を得た際に記録し共有できる記録簿を準備する。そしてビジネスマナーⅢの授業において、これらの情報を在籍生へアウトプットできるようシラバスを作成する。

○項目9 財務  
(学校より)

広報戦略の見直しによる定員確保。2025年4月からトリマー学科、トリマー専攻科が閉科となったことで講師料の大幅な削減可。今後の改善方策として定員充足に向けた広報戦略の強化と並行して、収支構造を精査、固定費・変動費を含む経常支出を見直す。損益分岐点を意識した収支管理を徹底し、学納金依存からの脱却を視野に、持続可能な財務体制を構築する。

また、教育基軸の活用とより高い学習効果の実現に向けたICT教育手法の実践や3ポリシーに基づく教育課程・教育体制の検証と改善、在籍率の向上に向けた学生支援環境の整備、事務業務の検証と改善、新学籍システムを用いた業務の合理化と省力化の実現、専門学校グループの教育資源を活用し、高校の充実したキャリア教育の実現、社会のニーズに合わせた学校・学科構成の見直し、新たな取り組みの検証と見直しを進める。在籍率の向上に向けた学生支援の取り組み結果、2024年度は在籍率100%。

## 6. その他

(1)以下、令和6年度(2024年度)学校自己点検・評価を併せて確認いただきたい。

### 項目1 教育理念

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

### 項目2 学校運営

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

### 項目3 教育活動

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

### 項目4 学修成果・教育成果

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目5 学生支援

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目6 教育環境

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目7 学生の受入れ募集

- ・項目評価 4.0
- ・高校生へのPR手法の違い。

項目8 教育の内部質保証システム

- ・項目評価 3.8
- ・卒業後のキャリア形成への効果を把握できるよう、卒業生情報を得た際に記録し共有できる記録簿を準備する。そしてビジネスマナーⅢの授業において、これらの情報を在学生へアウトプットできるようシラバスを作成する。

項目9 財務

- ・項目評価 3.8
- ・定員充足に向けた広報戦略の強化と並行して、収支構造を精査、固定費・変動費を含む経常支出を見直す。損益分岐点を意識した収支管理を徹底し、学納金依存からの脱却を視野に、持続可能な財務体制を構築する。

項目10 社会貢献・地域貢献

- ・項目評価 4.0
- ・特に問題はなかった。

項目11 国際交流

- ・項目評価 3.5
- ・学習成果が国内外で評価される取組を行っていない。

以上